

「心不全に対する多職種連携および地域連携介入が再入院率・死亡率・治療介入指標に与える影響の検討—DPC データと個票データを用いた後方視的解析—」へのご協力のお願い

代表者 所属：津山中央病院 循環器内科 職名：部長 氏名：藤本 竜平

1. 目的

本研究は、当院で 2022 年より導入された心不全多職種連携（心リハ・心不全ケアチーム）および、2023 年から本格運用を開始した岡山県北部心不全療養指導ネットワークの介入が、心不全患者の再入院率、院内死亡率、心不全パス導入率、治療内容等に与える影響を明らかにすることを目的とする。加えて、個票データを用いた多変量解析により、これらの介入の有効性や独立した関連因子を探索する。

2. 対象と方法

【対象】

2020 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の間に、津山中央病院において心不全（ICD-10：I50）を主病名として入院したすべての患者を対象とする。

【方法】

- ・診療録管理室より、DPC および診療情報に基づく匿名化個票データを取得する。
- ・再入院（30 日、60 日、90 日以内）、院内死亡、心不全パス導入、心リハ介入の有無などを主要評価項目とする。
- ・共変量として年齢、性別、NYHA 分類、LVEF、BNP/NT-proBNP、既往歴（高血圧、糖尿病、心房細動、CKD、脳卒中など）、入院中治療（ガイドライン遵守）、在院日数、救急搬送、退院先などを用いる。
- ・統計解析には STATA を使用し、傾向スコア調整、ロジスティック回帰、Cox 回帰等を行う。

3. 研究期間

倫理審査承認日 ～ 2026 年 3 月 31 日（予定）

4. 調査票等

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきます。あなたの個人情報は削除後匿名化し、個人情報などが漏洩しないようにプライバシーの保護には最新の注意を払います。

- ・年齢、性別、家族歴、既往歴、嗜好、診察初見など
- ・検査データ、画像データ、手術記録、病理記録など
- ・治療内容、有害事象など

5. 情報の保護

調査により得られたデータを取り扱う際は、被検者の秘密保護に十分配慮し、特定の個人を識別することができないようにします。

個人情報は完全に秘匿されておりますのでご安心下さい。もし患者様自身やご家族の情報が研究に使用されることについてご了承頂けない場合には研究対象としませんので下記までご連絡下さい。

津山中央病院 病院長 岡 岳文

連絡先：電話 0868-21-8111（担当：循環器内科 藤本 竜平）